

# 土岐川グリーンベルト通信 第29号

## 平成 21 年度「笠原の森」笠原中学校による活動報告

今年度、笠原中学校では、1年生から3年生までの3学年（総勢 328 名）を対象として、総合的な学習の時間を用いて、「笠原の森」をフィールドとした自然学習・観察・樹林整備活動を行いました。

○1 年生（119 名、今年度初めて活動に取り組む生徒）

活動テーマ 「樹林を知り、樹林に親しむ」

○2 年生（113 名、今年度初めて活動に取り組む生徒）

活動テーマ 「樹林を知る。これまでの先輩たちの活動を受け継ぎ、樹林調査を行う」

○3 年生（96 名、1 年生から活動に取り組んでおり、今年で 3 年目を迎える生徒）

活動テーマ 「これまで 3 年間の活動の取り組みの集大成として、“発信”を意識して活動を行う」



### 活動実績一覧

日程	生徒	活動内容
2009年9月29日	1・2年生	学習会「樹林の大切さ、樹林整備の意義」
2009年10月13日	2年生	観察会（森の散策、森林土壌と木（葉・幹・実）の観察）
2009年11月17日	3年生	樹林整備活動 【野外班】 ・守ろう班：歩道・階段整備 ・楽しもう班：遊具づくり （※当日雨天であったため、人形づくりを実施） 【屋内班】 ・伝えよう班：広報資料づくり ・ふれあおう班：幼稚園児の遠足企画・準備 ・創ろう班：人形づくり
2009年12月1日	1年生	観察会（森の散策、森林土壌と木（葉・幹・実）の観察）
2009年12月1日	2・3年生	樹林調査の事前学習会「調査の意義、調査方法」
2009年12月8日	3年生	樹林整備活動 【野外班】 ・守ろう班：歩道・階段整備 ・楽しもう班：遊具づくり 【屋内班】 ・伝えよう班：広報資料づくり ・ふれあおう班：幼稚園児の遠足企画・準備 ・創ろう班：人形づくり
2009年12月15日	2年生	樹林調査（毎木調査、気温調査、照度調査）

### 9/29 ～1・2年生学習会～

講義のほか、森林と裸地の土砂流出比較実験などを行い、生徒に樹林の大切さ、樹林整備の意義をわかりやすく説明しました。

#### ●講義



#### ●実験



### 森の観察会 ～10/13(2年生観察会)、12/1(1年生観察会)～

「森にふれあい、森を知る」ことを目的として、森を1周し、森の土・木の観察を行いました。



### 3年生による取り組み(これまでの3年間の集大成として)

生徒自らが、これまでの3年間の活動を振り返り、自分たちの活動を後輩たちに引継ぎ、地域へ発信していくために、取り組みたい活動を考え、5つの班にわかれて活動に取り組みました。

- 守ろう班：歩道・階段整備（野外）
- 楽しもう班：遊具づくり（野外）
- 伝えよう班：広報資料づくり（屋内）
- ふれあおう班：幼稚園児の遠足の企画・準備（屋内）
- 創ろう班：伐採木を用いた人形づくり（屋内）

NPO 法人鎮守の森、多治見市役所、多治見砂防国道事務所により、事前準備として活動資機材の調達、当日の技術指導などの支援を行いました。皆様のご協力ありがとうございました。



守ろう班



伝えよう班



ふれあおう班



楽しもう班



創ろう班



### 2年生 樹林調査に関する取り組み（笠原の森について調べ、データを蓄積しています）

#### 調査事前学習

調査を経験している3年生により、調査方法などの説明が行われました。

調査は、森林や森林調査を専門とする岐阜大学生により、指導していただきました。



9班にわかれ、1班あたり100m<sup>2</sup>の範囲で、毎木・気温・照度調査を行いました。調査結果をもとに、来年以降、樹林整備に取り組む予定です。



「土岐川流域グリーンベルト整備事業」は、多治見市・土岐市の緑を対象とし、市街地に隣接する山麓斜面を一連の緑地帯（グリーンベルト）として、保全・創出することにより、土砂災害を防止し、自然環境・景観を保全することを目的としています。

作成者・お問い合わせ先

国土交通省 中部地方整備局

多治見砂防国道事務所

〒507-0023 岐阜県多治見市小田町 4-8-6

TEL : (0572) 25-8020

<http://www.cbr.mlit.go.jp/tajimi/>